

# 整形外科

## 高山赤十字病院 整形外科後期研修プログラム

1. 研修期間：4年間  
シニアレジデント：4年（専門医取得準備期間）
2. 後期研修の目的
  - A) 整形外科医としての総合的な診療能力を身につける。
  - B) 整形外科医として地域医療に貢献する。
  - C) 整形外科医として必要な技術を習得する。
3. 到達目標
  - A) 整形外科専門医を取得するための条件をそろえる。
  - B) 整形外科医として必要な手技を全般にわたり獲得する。
  - C) 整形外科の専門領域に進むための基礎を習得する。
4. 研修プログラム
  - A) 外来診療  
通常の外来診療を担当し、より高度な診断能力、治療手技を習得する。
  - B) 入院診療  
外傷（骨折・スポーツ障害）・関節疾患・脊椎等広範囲にわたる疾患をバランスよく担当し、診療能力を高める。
  - C) 手術  
骨折・スポーツ障害から、脊椎・人工関節等の変性疾患まで 術者になるための技術を習得する。他施設での手術見学を行い、新しい手技・幅広い手技の習熟に努める。
  - D) 研究  
年に数回の学会・研究会での発表・論文発表を経験し、疾患に対する科学的なアプローチを習得する。
  - E) 専門医取得  
専門医取得のために必要な症例を経験し、論文・学会発表を行う。  
(参考) 日本整形外科学会専門医取得の条件  
整形外科専門医の資格は申請時に引き続き4年以上学会の正会員であること  
臨床研修期間が6年以上であり、そのうち3年以上を認定された研修施設で受けること  
1編以上の論文の掲載と1回以上の学術集会発表があること  
研修期間中に教育研修講演を受講し、所定の単位を取得すること
5. プログラム研修中の医師の処遇について  
当院規定により、常勤医師と同様の処遇とする。